

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## 高齢者胃癌患者に対する適切な治療法の検討

### 1. 研究の対象

2013年4月1日から2023年3月31日までの間に、当院の消化器外科で胃癌についての手術治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

目的：上記の期間に当科で手術治療を受けた80歳以上の胃癌患者さんにおける、胃癌の状態や、治療内容、治療経過を80歳未満の胃癌患者さんの状況と比較・検討し、ご高齢の胃癌患者さんに対するより良い治療法を検討します。このため、当科で手術を受けた胃癌患者さんの情報を収集して、患者さんの治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：該当なし

情報：

原発胃癌症例を80歳以上(elderly patients; EP)と80歳未満(younger patients; YP)に分類し、この両群において、胃癌の臨床病理学的特徴、術式、合併症や生存転帰についての情報を収集する。

- 1) 患者・腫瘍因子（年齢・性別・腫瘍占居部位・組織型・術後進行度）
- 2) 手術因子（アプローチ・切除術式・郭清程度・手術時間・出血量）
- 3) 術後因子（術後合併症・生存期間・原病死/他病死）

#### 4. 情報の提供先・提供方法

情報提供なし

#### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

#### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院（電話：代表 042-639-1111 内線：3000）

研究責任者 消化器外科 野村 栄治

問い合わせ担当者 消化器外科 谷田部 健太郎、関 太要

-----以上